



NPO PTPL “ともいき” 便り No.178

令和元年（2019年）9月8日発行

■白露（はくろ） 令和元年9月8日から9月22日までの節気

9月に入り、7月から月にかけての猛暑、酷暑は峠を越えたように感じられる今日この頃ですが、まだまだ真夏は続きそうです。皆様、熱中症などにはくれぐれもご注意ください。

さて、9月に入ると翌年の「ともいき暦」づくりに着手します。この作業が意外と大変で、日にちが決まっている項目は日を変更するだけで済みますが、旧暦扱いの項目は新暦と旧暦の変換計算が必要となります。最近では、ネット上でいろいろな変換方法がありますので、だいぶ楽にはなりました。

ちなみに私は、こよみのページ (<http://koyomi.vis.ne.jp/>) を活用しています。このサイトは非常によくできたサイトで、多くの人々が訪れています。特に、釣りに出掛ける際などは非常に的確な情報源となっているそうです。

この節季期間中の主な行事をご紹介します。

まずは9月9日（月）ご節句のひとつ「重陽」です。重陽は、中国の易でいう陽数（奇数）の極である九が重なることで、重九（ちょうく）ともいい、陽の極である九が二つ重なる9月9日は、大変にめでたい日とされました。

邪気を祓い長寿を願って、菊の花を飾り酒を酌みかわして祝ったといわれています。いつも感じるのですが新暦と旧暦の約1か月のずれがあります。本来なら9月上旬は菊の花は咲きません。子のずれが新暦と旧暦を組み合わせた「ともいき暦」の面白いところだと思います。ちなみに今年の旧重陽は10月7日（げつ）です。

※詳しくは「ともいき暦」をご覧ください。

(<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2019/>)

続いては、9月11日（水）が雑節の「二百二十日」です。

前号でも9月1日（月）雑節「二百十日」をご紹介しました、重なる点もありますがご紹介します。「二百十日」も「二百二十日」、どちらも台風が来襲する確率が高く、稲の開花時期にあたるので農家にとっては厄日とされています。気象庁のホームページによると、大風の上陸回数上位は2000年代に入ってからです。やはり昨今話題になっている温暖化が進んでいるのでしょうか？

9月15日（日）は「老人の日」、9月16日（月）は「敬老の日」です。

高齢化社会の中、元気なお年寄りが多いことは喜ばしいことと思いますが、先輩たちの豊富な知識と経験をもっともっと活かす社会をつくっていくことが、日本らしさの継承となると思います。

9月8日（日）は、東京の秋の風物詩「目黒のさんま祭り」が開催されます。毎年、40店近くの屋台や露店がたち、2万人から3万人の人出でにぎわいます。

今年はさんまの深刻な不漁が報道されています。去年よりも資源量が3割減で、サイズも小さいようです。数年前にもさんまの不漁がありましたが、提供元である岩手県宮古漁港の皆さんの努力で無事に開催された記憶があります。今年も、JR目黒駅界隈は多くの人々で旬のさんまに舌鼓を打ちながら賑わうでしょう

最後に、9月13日（金）は「十五夜」です。10月11日（木）は「十三夜」、11月6日（水）は「十日夜」と今年の「三見月」が続きます。三つの月が見られるといいですね。

佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●暗いニュースが続きます。

毎日、気持ちが暗くなる、不安になるような出来事が報道され続けています。あおり運転による死亡事故や暴力、児童虐待、いじめによる自殺、詐欺、残忍で残虐な殺人事件、SNSで拡散される悪ふざけや暴力動画、家庭内暴力、深刻な近隣トラブル、動物虐待などなど。どなり合う人たち。殴り合う人たち。傷つ

けあう人たち。いじめあう人たち。

近々では、多数の死傷者が出た凄惨な放火事件もありました。

心の暗い、荒れた心の持ち主が多い世の中になったのでしょうか？・・・。

不安です。

不安を感じるのは私だけでしょうか？！！

こんな風に言う人がいます。

テレビで報道・ニュース番組が多くなったこと、インターネットが発達して、誰でもが情報発信できる時代になったこと、その上にスマホで動画を撮って、すぐにネットにあげることができるようになったから、頻繁に目にするようになっただけ、ずっと以前からあることですよ、と。

そうでしょうか。

日本には昔から「ありがとう」「袖振り合うも他生の縁」「お福分け」「おかげさま」「縁の下の力持ち」「お互いさま」など、人と人との「和」を大切にする言葉がたくさんあり、その価値観、精神文化は私たちの中に脈々と流れ続けていると思います。

「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」ジャパネスクの世界観、価値観、精神文化をもう一度、再確認、再認識することが大切です。「心の明るい、心の輝き」を持った人たちもたくさんいるはずです。私は信じています！！

すとうあさえ (NPO PTPL 会員)・勝田祥三 (NPO PTPL 理事長)

日本 2019 ジャパネスク

日本の歴史を学ぼう。

「もっと知りたい。これが日本、これも日本。」

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

- うだるような厳しい暑さからは、だいぶ楽になった感がある今日この頃ですが、梅雨のようなムシムシ、ジメジメした暑さが続きます。早く秋の訪れが待ちどろしいですね。

季節の替わり目、くれぐれもお身体ご自愛ください。

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp